

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	政治学概論B（Survey of Political Science B）		
ナンバリングコード	E31503	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 教職科目 / 応用レベル
単位数	2	配当学年 / 開講期	3 年 / 後期
必修・選択区分	選択・教職 教職関係科目（必修）: 高等学校教諭一種免許状（公民） 教職関係科目（選択）: 中学校教諭一種免許状（社会） ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	EK00851	クラス名	-
担当教員名	斉藤 雄次		
履修上の注意、履修条件	国内政治と同様、国際政治も日々刻々と変化する「なまもの」である。新聞やニュースなどのメディアで扱われている国際的な事象にも関心を持ち、国際政治に対する理解を深めたり、自身の世界観を広げていただきたい。		
教科書	特になし。そのつど資料を配布する。		
参考文献及び指定図書	村田晃嗣ほか『国際政治学をつかむ 新版』（有斐閣、2015年） 小田桐確ほか編『ワークブック国際関係論』（ナカニシヤ出版、2018年） など		
関連科目	なし		

○基本情報		
授業の目的	国際政治を動かすアクターは様々な国・地域であり、組織であり、人である。そうしたアクターが相互に関わって形成されている現在の国際秩序や、それによっては解消されない様々な問題に対する理解を深め、国際社会のあり方を考えることが本授業の目的である。 また、本科目は教職関係科目ということで、中学校社会科や高等学校公民科の教科指導を行うにあたって必要な知識や考え方の修得とも関わりがある。本授業の目的は、国際政治や国際政治学に関する教養を高めるだけでなく、社会科の教員、公民科の教員として求められる教科指導力の基礎を培うことにもある。	
授業の概要	国際政治学や国際関係論の議論ももとに、現代の国際関係の歴史や基本的構造を理解したり、今日の国際関係において押さえるべき争点を分析し、その背景を考えたり、問題解決の道筋を検討する。その上で、日本と国際社会との関係のあり方について考える。 また、そうした学修に役立つように、適宜、自らの関心のある国際政治に関する事象を選んで、ある国や地域が直面している課題やその解決策などについて報告してもらおう活動、それをもとに議論する活動も取り入れる。 さらに、中学校社会科や高等学校公民科の教科書等も用いながら、国際政治学や国際関係学の学問的議論と教科書記述との関係についても理解を深めてもらう。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「ディスカッション、ディベート」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	国際政治や国際政治学などの議論に関心を示し、社会科・公民科教員になることを含むこれからの自身の生活に、学修内容を活用していこうとする意欲や態度を有している。	10点		10点
【知識・理解】	国際政治の仕組みに関する理解や国際政治学の議論に関する知識の修得に努め、自分なりに国際政治やそれにまつわる争点を理解することができる。	20点	10点	
【技能・表現・コミュニケーション】	興味のあるテーマに関するプレゼンテーションやディスカッションを通じて、自らの意見を表現したり、他者から様々な意見を引き出したりすることができる。		10点	10点
【思考・判断・創造】	あるべき国際政治の姿を考えることを通じて、あるべき国際社会の姿についても考え、自らの立場に基づいた見解を述べることができる。	10点	10点	10点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
プレゼンテーションに向けて作成した資料も評価の対象に加えるとともに、必要に応じてコメントを加える。 なおプレゼンテーション資料の作成にあたっては、引用元(出典)の明示に留意すること。 またディスカッションにあたってはクラス全員が議論を行い、授業者も適宜コメントや意見を加える。 課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。

○その他
プレゼンテーションやディスカッションを通じて、自分の考えを他者に伝えるように話す力、他者の意見を聞いて自らの考えを省みることのできる力、必要な情報を取捨選択する力などを高めていただきたい。それらの能力は、中学校社会科や高等学校公民科の教員になるにあたって、あるいは社会のなかで生活していく上でも役立つはずである。一般教養としての国際政治に関する知識や考え方を提供するとともに、教職に就く上でも必要となる国際政治に対する知識や考え方も提供し、多面的・多角的な国際政治に対するイメージを構築することも、本授業は目指している。

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	政治学概論B（Survey of Political Science B） 齊藤 雄次	授業コード	EK00851
学修内容				
1. 国際政治(学)を学ぶとは				
国際政治にまつわる時事的なトピックももとに、国際政治学、また国際政治学と関係の深い国際関係論で扱われるテーマについて概観する。				
予習	関心のある国際政治学、国際関係論に関する文献を探して、目を通す。			約2時間
復習	配布資料を振り返るとともに、講義中に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
2. 国際政治のあゆみ(1)－「主権国家」体系の成立と国際政治				
欧州諸国で領土や主権が確立され、「ウェストファリア体制」が成立した時期の前後の動きを把握し、主権国家体系の成立について理解する。				
予習	関係する事項の基本概念、争点などを調べる。			約2時間
復習	配布資料を振り返るとともに、講義中に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
3. 国際政治のあゆみ(2)－2度の世界大戦と国際政治				
国際連盟や国際連合の設立に関わる、第一次世界大戦および第二次世界大戦に焦点を当て、当時の国際政治の状況について理解を深める。				
予習	関係する事項の基本概念、争点などを調べる。			約2時間
復習	配布資料を振り返るとともに、講義中に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
4. 国際政治のあゆみ(3)－冷戦、ポスト冷戦および文明の衝突と国際政治				
地域的な安全保障体制が確立した冷戦期、また冷戦以後の国際秩序と「文明の衝突」論に焦点を当て、当時および近年の国際政治の状況について理解を深める。				
予習	関係する事項の基本概念、争点などを調べる。			約2時間
復習	配布資料を振り返るとともに、講義中に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
5. 国際政治の見方・考え方(1)－リアリズムとリベラリズム－				
第二次世界大戦以前の時期に議論されたリアリズム、リベラリズムなどの国際政治学の諸理論、および冷戦期に発展したネオリアリズム、ネオリベラリズムなどの諸理論に触れ、国際政治の見方や考え方を身につける。				
予習	関係する事項の基本概念、争点などを調べる。			約2時間
復習	配布資料を振り返るとともに、講義中に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
6. 国際政治の見方・考え方(2)－支配・従属に関する理論とコンストラクティヴィズム－				
冷戦期に発展した従属論、世界システム論、コンストラクティヴィズムなどの諸理論に触れ、比較的新しい国際政治の見方や考え方を身につける。				
予習	関係する事項の基本概念、争点などを調べる。			約2時間
復習	配布資料を振り返るとともに、講義中に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
7. 国際政治の見方・考え方(3)－安全保障、国際政治経済－				
勢力均衡、同盟といった安全保障にかかわる諸概念、および国際政治と国際経済の結びつきに注目する国際政治経済学の知見について理解し、グローバル化の進む今日的状況を踏まえた国際政治の見方や考え方を身につける。				
予習	関係する事項の基本概念、争点などを調べる。			約2時間
復習	配布資料を振り返るとともに、講義中に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
8. 国際政治を考えるキーワード(1)－政治体制、対外政策決定過程				
全体主義、民主主義、権威主義体制という政治体制、国内・国際の様々なアクターに関わる対外政策決定過程に焦点を当て、国際政治についての理解を深める。				
予習	関係する事項の基本概念、争点などを調べる。			約2時間
復習	配布資料を振り返るとともに、講義中に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	政治学概論B（Survey of Political Science B） 齊藤 雄次	授業コード	EK00851
学修内容				
9. 国際政治を考えるキーワード(2)－外交交渉、国連の役割				
戦争の抑止に関わる外交交渉、および集団安全保障の理念を体現する存在としての国際連合に焦点を当て、国際政治についての理解を深める。				
予習	関係する事項の基本概念、争点などを調べる。			約2時間
復習	配布資料を振り返るとともに、講義中に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
10. 国際政治を考えるキーワード(3)－地域主義、脱国家的主体				
地域単位でまとまろうとする動きとしての地域主義、また近年の国際政治において存在感を示す脱国家的主体に焦点を当て、国際政治についての理解を深める。				
予習	関係する事項の基本概念、争点などを調べる。			約2時間
復習	配布資料を振り返るとともに、講義中に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
11. 国際政治を考えるキーワード(4)－核、新しい戦争				
核兵器の軍拡や軍縮をめぐる動き、テロとの戦いをはじめとする「新しい戦争」などに焦点を当て、国際社会のあり方について考察する。				
予習	関係する事項の基本概念、争点などを調べる。			約2時間
復習	配布資料を振り返るとともに、講義中に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
12. 国際政治を考えるキーワード(5)－紛争の解決、人権と民主主義				
国連PKOの活動に代表される、平和を維持するための取り組みや、人権・民主主義を守る動きに関する議論に焦点を当て、国際社会のあり方について考察する。				
予習	関係する事項の基本概念、争点などを調べる。			約2時間
復習	配布資料を振り返るとともに、講義中に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
13. 国際政治を考えるキーワード(6)－グローバル化、開発援助				
人やモノ・サービスが国境を超えて移動し、世界が結びつくグローバル化の動きがもたらした功罪、また世界に存在する経済格差の縮小につながる開発援助に焦点を当て、国際社会のあり方について考察する。				
予習	関係する事項の基本概念、争点などを調べる。			約2時間
復習	配布資料を振り返るとともに、講義中に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
14. 国際政治を考えるキーワード(7)－地球環境問題、科学技術とエネルギー				
一国だけでは解決が難しく、各国が足並みを揃える必要のある地球環境問題、また地球環境問題にも密接に関わる科学技術やエネルギーに焦点を当て、国際社会のあり方について考察する。				
予習	関係する事項の基本概念、争点などを調べる。			約2時間
復習	配布資料を振り返るとともに、講義中に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
15. 総括				
これまでの学修内容を踏まえて、国際政治はどうあるべきか、また国際社会はどうあるべきかについて考察する。特に、アフリカを含む世界の全地域が直面する様々な課題を踏まえて、国際政治および国際社会のあり方について考える。				
予習	授業の全体を通して、もう一度説明してほしいところ、疑問点などを整理して、質問するように用意する。			約2時間
復習	これまでの配布資料を振り返るとともに、あるべき国際政治や国際社会についての自身の見解を整理する。			約2時間
16. 期末試験				
15回分の学修内容について試験を行う。実施の詳細については講義中に指示する。				
予習	これまでの配布資料をもとに、あるべき国際政治や国際社会の姿について説明できるようにする。			
復習				